

第73期

報 告 書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

名糖産業株式会社

目 次

株主の皆様へ	1
連結業績の推移	5
連結財務諸表	
連結貸借対照表	6
連結損益計算書	7
連結株主資本等変動計算書	8
連結キャッシュ・フロー計算書	8
個別業績の推移	9
個別財務諸表	
個別財務諸表（要約）	10
個別株主資本等変動計算書	11
会社の概要、株式の状況、役員	12

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申しあげます。

さて、当社第73期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の営業の概況につきましてご報告申しあげます。

<企業集団の事業の経過およびその成果>

当連結会計年度におけるわが国経済は、円安の進行に伴い輸出関連企業やグローバル企業を中心に収益が拡大し、また、雇用や所得環境の改善により個人消費が底堅く推移して、景気の緩やかな回復が続きました。しかし、原材料価格の上昇や新興国経済の減速、さらに国際政治情勢の悪化など、経済の先行きに対する懸念材料も残りました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、食品の品質や安全性に対する消費者意識がますます高まる一方で、原材料コストの上昇が企業収益を圧迫して、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の品質向上と安全性確保のため品質管理体制の強化に引き続き注力するとともに、お客様に満足いただける高付加価値商品の提供ならびに積極的な販売促進活動を推し進めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、前連結会計年度比4.0%増の20,080百万円となりました。営業損益につきましては、事業の効率化やコストの削減などに努めましたが、原材料価格の高騰が収益を圧迫して、292百万円の損失となりました。なお、前連結会計年度は545百万円の営業損失でありました。また、経常利益は営業外収益577百万円などを計上して、前連結会計年度比72.9%増の224百万円となりました。当期純利益につきましては、特別利益に新株予約権戻入益112百万円、特別損失に投資有価証券評価損93百万円と製品回収廃棄損24百万円を計上しました結果、64百万円となりました。なお、前連結会計年度は261百万円の純損失でありました。

<企業集団のセグメント別業績>

食品事業

当連結会計年度におきましては、主力の菓子部門は新商品や新規格商品を投入して、キャラクターを使用したコラボレーションキャンペーンなどの営業施策を積極的に展開しました結果、売上が好調に推移して増収となりました。チョコレート類は、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」や

新商品の「宇治抹茶チョコレート」などのファミリータイプの商品ならびにエアインチョコレートが売上を伸ばして、増収となりました。キャンディ類は、前連結会計年度並みの売上となりました。

粉末飲料部門は、新商品の「香り高いミルクココア」が好調に売上を伸ばしましたが、「レモンティー」や「ロイヤルミルクティー」などの主力商品が厳しい販売競争の影響を受けて落ち込み、減収となりました。

また、主として九州地区で製造・販売している冷凍部門は、自社商品は苦戦しましたが、受託商品が新規取引などにより伸長して増収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースペーカーは、積極的な商品提案や営業活動の展開が功を奏し、主力のバウムクーヘン類やゼリー類がともに順調に売上を伸ばして、増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前連結会計年度に比べ4.4%増の17,664百万円となりました。営業利益につきましては、原材料価格の上昇が利益の圧迫要因となりましたが、その対策として新商品や新規格商品を投入しましたところ売上が順調に推移して114百万円となりました。なお、前連結会計年度は39百万円の営業損失でありました。

化成事業

酵素部門につきましては、海外企業との販売競争が激化しているなかでグローバルな営業活動を展開しました結果、チーズ用凝乳酵素「レンネット」は増加しましたが、脂肪分解酵素「リパーゼ」が苦戦して減収となりました。

また、薬品部門につきましては、癌転移検出用医療機器で使用される「デキストランマグネタイト」や医薬品、X線フィルムなどの原料用の「デキストラン」などが売上を伸ばして増収となりました。

これらの結果、化成事業の売上高は前連結会計年度に比べ2.2%増の2,123百万円となり、営業利益につきましては109百万円となりました。なお、前連結会計年度は8百万円の営業損失でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、賃貸物件のうち一部の契約が終了したことなどにより、売上高は前連結会計年度に比べ3.7%減の292百万円となり、営業利益は前連結会計年度に比べ8.0%減の110百万円となりました。

<設備投資および資金調達の状況>

当連結会計年度の設備投資総額は806百万円で、主なものは名古屋工場にお

けるチョコレート製造設備ならびに八王子工場におけるデキストラン製造設備の更新などがあります。これらに必要な資金は、すべて自己資金により充たいたしました。

<対処すべき課題>

当社グループを取り巻く環境は、国の経済政策による景気回復が期待されるものの、消費者の生活防衛意識が根強く残るなかで、原材料価格の先高基調が予想されるなど、先行きは予断を許さない状況が続くものと懸念されます。また、消費者の健康への関心や安全性志向が高まるなかで、食品の安全性や品質の向上への取り組みが一層強く求められております。

このような状況のもと、当社グループは、お客様に喜ばれ満足いただける安全・安心で高品質な商品を提供するとともに、生産性の向上やコスト削減を進めて強靱な企業体質の確立と収益力の向上に努めることにより、企業の持続的な発展と企業価値の増大を目指してまいります。具体的な取り組み課題は以下のとおりであります。

* 食品事業につきましては、少子高齢化とファミリー世帯の減少が進むなかで、原材料価格高騰による生産コストの上昇や企業間の激しい販売競争により厳しい経営環境が続くものと予想されます。その環境のもと、当社グループは、消費者の多様化したライフスタイルや価値観にお応えするため、市場環境を見据えた商品開発および販売戦略に取り組んでまいります。これらにより、低価格競争にさらされない高付加価値商品の提供と売上規模の拡大を推進してまいります。同時に「アルファベットチョコレート」や粉末飲料の「レモンティー」、また連結子会社である株式会社エースベーカーリーの「厚切りバウムクーヘン」などの中核ブランドのさらなる強化はもとより、グループ各社の連携を一段と強めてシナジー効果を最大限に発揮して、食品事業の強化と拡大を目指してまいります。また、高齢化社会で介護食などの栄養食品の需要が高まるなか、栄養食品部門を新たな成長の柱に育ててまいります。さらに、平成22年に新工場を稼働させた株式会社エースベーカーリーにおきましても、お客様のニーズにお応えできる商品開発と精力的な営業活動を推進して、シェアの拡大と収益力の向上に努めてまいります。また、世界最大のマーケットである中国においてケーキ類を製造販売することを目的として、当社と中国旺旺控股有限公司の傘下企業である香港旺旺控股有限公司と

の間で合弁会社「南京名糖旺旺食品有限公司」を設立することを合意いたしました。中国のケーキ類市場において同社と共同で事業展開を図ってまいります。今後も当社グループは、原材料や商品の安全性はもとより、品質管理や生産体制を一層強化して、お客様に安心してお買い上げいただける高品質な商品をお届けできますよう注力してまいります。

- * 化成品事業の酵素部門につきましては、主力商品であるチーズ用凝乳酵素「レンネット」の海外での営業活動をさらに強化し、新規顧客開拓などによって既存商品のシェア拡大に努めるとともに、改良次世代商品の普及にも力を注ぐことによって、売上の拡大に努めてまいります。多様な用途を持つ脂肪分解酵素「リパーゼ」やリン脂質製造用酵素「ホスホリパーゼ」につきましては、国内外で新規用途および顧客開拓を促進し、これらの商品の販売拡大に取り組んでまいります。また、「レンネット」、「リパーゼ」のさらなる改良とともに、これらとは異なる新規な酵素商品の開発にも取り組み、実用化を目指してまいります。

薬品部門では、MRI（磁気共鳴画像）診断用肝臓造影剤『リゾビスト』の原薬「フェルカルボトラン」を始めとする磁性体「デキストランマグネタイト」の、乳癌転移検出などへの用途拡大や新たな造影法で使用する磁性体の開発をさらに促進してまいります。また、医薬品などの原料である「デキストラン」の食品用など新規な用途開拓、および「デキストラン」から合成したデキストラン誘導体の化粧品素材や臨床検査用試薬などでの販売拡大を推進し、特に海外向けの販売を強化してまいります。混合飼料「ヘルシーフレンド」につきましても、引き続き顧客開拓と販売促進に注力し、改良にも取り組んでまいります。

いずれの分野でも国内外からの安全に対する要請が強まっており、コスト削減とともに、生産管理、品質管理基準の向上に取り組み、事業基盤の強化に努めてまいります。

今後とも時代の変化に対応し、お客様に信頼され社会に貢献できる企業として継続的に発展するよう、全社を挙げて努力する所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご指導とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成27年6月

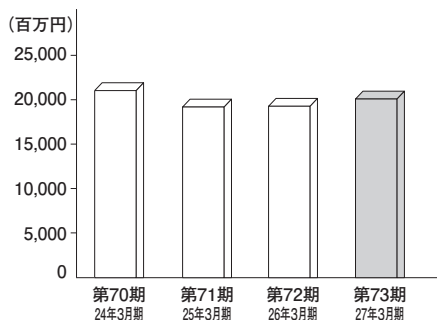
代表取締役社長 小 島 寛 志

連結業績の推移

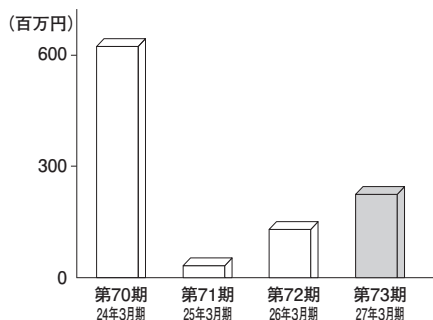
区 分	第70期 (平成24年3月期)	第71期 (平成25年3月期)	第72期 (平成26年3月期)	第73期(当期) (平成27年3月期)
連結売上高(百万円)	21,069	19,216	19,302	20,080
連結経常利益(百万円)	624	31	129	224
連結当期純利益または 当期純損失(△)(百万円)	377	47	△261	64
連結ベースの1株当たり当期純利益 または当期純損失(△)(円)	22.46	2.85	△15.57	3.86
連結総資産(百万円)	43,627	45,850	46,687	51,972
連結純資産(百万円)	31,172	33,378	34,254	38,701

(注) 連結子会社3社
株式会社エースベーカー、名糖乳業株式会社、プリンスゴルフ株式会社
持分法適用会社1社
名糖アダムス株式会社

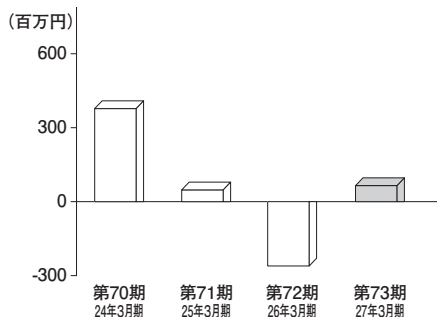
連結売上高



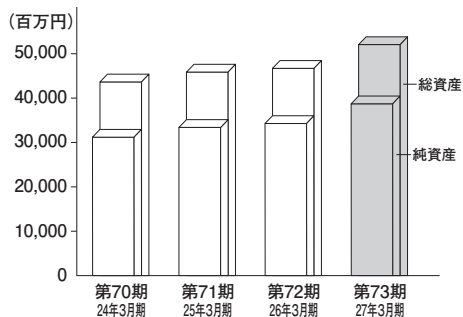
連結経常利益



連結当期純利益



連結総資産／連結純資産



連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成27年 3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	8,775	流動負債	4,633
現金及び預金	1,815	支払手形及び買掛金	2,093
受取手形及び売掛金	3,954	短期借入金	250
有価証券	649	1年内返済予定の長期借入金	369
商品及び製品	958	未払金	166
仕掛品	393	未払費用	1,549
原材料及び貯蔵品	829	未払法人税等	34
繰延税金資産	161	返品調整引当金	7
その他	34	その他	161
貸倒引当金	△21	固定負債	8,637
固定資産	43,197	長期借入金	637
有形固定資産	11,019	繰延税金負債	5,219
建物及び構築物	4,489	役員退職慰労引当金	16
機械装置及び運搬具	3,249	退職給付に係る負債	2,445
工具器具及び備品	90	その他	318
土地	3,179	負債合計	13,271
建設仮勘定	11	(純資産の部)	
無形固定資産	66	株主資本	25,638
投資その他の資産	32,110	資本金	1,313
投資有価証券	31,997	資本剰余金	76
長期貸付金	21	利益剰余金	32,790
繰延税金資産	2	自己株式	△8,541
その他	168	その他の包括利益累計額	12,925
貸倒引当金	△78	その他有価証券評価差額金	13,011
		退職給付に係る調整累計額	△86
		新株予約権	137
資産合計	51,972	純資産合計	38,701
		負債・純資産合計	51,972

連結損益計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金	額
売 上 高		20,080
売 上 原 価		14,111
売 上 総 利 益		5,968
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		6,261
営 業 損 失		292
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	423	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	66	
そ の 他	88	577
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	21	
そ の 他	39	60
経 常 利 益		224
特 別 利 益		
新 株 予 約 権 戻 入 益	112	112
特 別 損 失		
投 資 有 価 証 券 評 価 損	93	
製 品 回 収 廃 棄 損	24	118
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		218
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	121	
法 人 税 等 調 整 額	32	154
少 数 株 主 損 益 調 整 前 当 期 純 利 益		64
当 期 純 利 益		64

連結株主資本等変動計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当 期 首 残 高	1,313	76	33,064	△8,546	25,907	8,077	14	8,092	254	34,254
当 期 変 動 額										
剰余金の配当			△335		△335					△335
当期純利益			64		64					64
自己株式の取得				△4	△4					△4
自己株式の処分			△2	9	6					6
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						4,934	△101	4,832	△117	4,715
当期変動額合計	—	—	△273	4	△269	4,934	△101	4,832	△117	4,446
当 期 末 残 高	1,313	76	32,790	△8,541	25,638	13,011	△86	12,925	137	38,701

連結キャッシュ・フロー計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

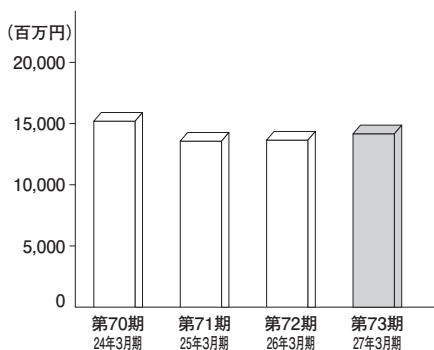
(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△315
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,452
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△424
現金及び現金同等物の期首残高	2,230
現金及び現金同等物の期末残高	1,805

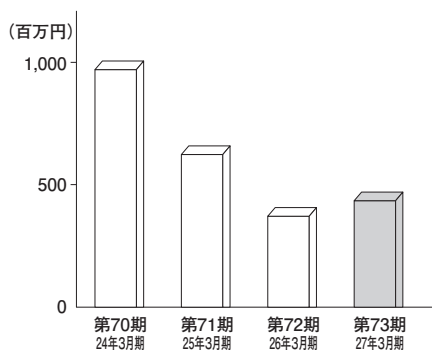
個別業績の推移

区 分	第70期 (平成24年3月期)	第71期 (平成25年3月期)	第72期 (平成26年3月期)	第73期(当期) (平成27年3月期)
売上高(百万円)	15,161	13,528	13,612	14,149
経常利益(百万円)	969	622	371	434
当期純利益または 当期純損失(△)(百万円)	607	575	△330	28
1株当たり当期純利益または 当期純損失(△) (円)	36.14	34.22	△19.66	1.71
総資産(百万円)	39,910	42,957	43,798	49,185
純資産(百万円)	30,443	33,172	33,938	38,451

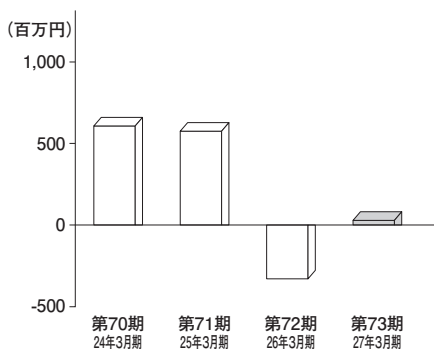
売上高



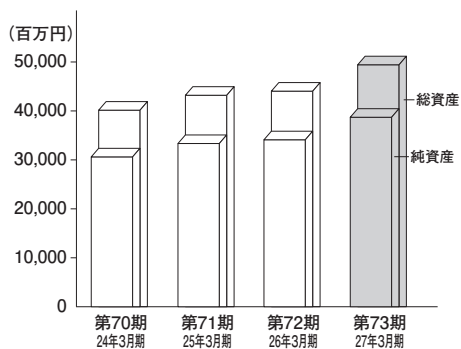
経常利益



当期純利益



総資産／純資産



個別財務諸表（要約）

個別貸借対照表

（平成27年3月31日現在）（単位：百万円）

科 目	金 額
（資産の部）	
流動資産	7,695
固定資産	41,489
有形固定資産	9,910
無形固定資産	61
投資その他の資産	31,517
資産合計	49,185
（負債の部）	
流動負債	3,003
固定負債	7,729
負債合計	10,733
（純資産の部）	
株主資本	25,312
資本金	1,313
資本剰余金	76
利益剰余金	32,464
自己株式	△8,541
評価・換算差額等	13,001
新株予約権	137
純資産合計	38,451
負債・純資産合計	49,185

個別損益計算書

（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）（単位：百万円）

科 目	金 額
売上高	14,149
売上原価	9,294
売上総利益	4,854
販売費及び一般管理費	4,907
営業損失	53
営業外収益	527
営業外費用	38
経常利益	434
特別利益	112
特別損失	383
税引前当期純損失	164
法人税、住民税及び事業税	119
法人税等調整額	15
当期純損失	28

（注）1株当たり当期純利益 1円71銭

個別株主資本等変動計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算 差 額 等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証 券評価差額金		
当 期 首 残 高	1,313	76	32,774	△8,546	25,618	8,065	254	33,938
当 期 変 動 額								
剰 余 金 の 配 当			△335		△335			△335
税率変更に伴う固定資産 圧縮積立金の増加			—		—			—
当 期 純 利 益			28		28			28
自己株式の取得				△4	△4			△4
自己株式の処分			△2	9	6			6
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）						4,935	△117	4,818
当 期 変 動 額 合 計	—	—	△309	4	△305	4,935	△117	4,513
当 期 末 残 高	1,313	76	32,464	△8,541	25,312	13,001	137	38,451

会社の概要 (平成27年3月31日現在)

社名	名糖産業株式会社
本社所在地	名古屋市西区笹塚町二丁目41番地
設立	昭和20年2月
資本金	13億1,325万円
事業内容	食品・化成品の製造販売および不動産賃貸
従業員数	343名
主な事業所	支店 東京・名古屋・大阪・福岡 工場 名古屋・枇杷島・小牧・八王子・福岡
子会社	株式会社エースパーカー (愛知県小牧市) 名糖乳業株式会社 (福岡県飯塚市) プリンスゴルフ株式会社 (福岡県宮若市)

株式の状況 (平成27年3月31日現在)

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	21,265,000株
株主数	10,082名

役員 (平成27年3月31日現在)

取締役会長	水谷彰宏
代表取締役社長	小島寛志
常務取締役	加藤重昭
取締役	瀧川敦志
取締役	三矢益夫
取締役	山下喜郎
常勤監査役	佐野佳之
監査役	寺澤弘
監査役	稲越千束

- (注) 1. 取締役山下喜郎氏は、社外取締役であります。
2. 監査役寺澤弘氏および稲越千束氏は、社外監査役であります。

幅広い年代にご支持頂ける 豊富なラインアップ!



アルファベットチョコレート



おいしさ
こだわり

自社工場でカカオ豆から一貫生産。
独特のカカオのコクと薫りを持ち味
とした本格派のチョコレート。

株式会社 エスベーカリー



レモンティー

香り高い紅茶に、レモン果汁を加えて
仕上げた本格派のレモンティーミックス。



厚切りバウムクーヘン

ふんわりとソフトに焼き上げたバウムクー
ヘンを一口サイズに厚くカットしました。

株 主 メ モ

事業年度 定時株主総会 公告の方法

毎年4月1日から翌年3月31日まで
6月中

電子公告により行います。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告により公告
をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告のホームページアドレス <http://www.meito-sangyo.co.jp>

上場証券取引所 株主名簿管理人

名古屋・東京

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行
ております。

(お知らせ)

1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特
別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行
株式会社にお申出ください。

2. 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

3. 配当金計算書について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく
「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用い
ただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの
都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

■株主様ご優待

毎年9月末(中間期末)現在100株以上ご所有の株主様へ当社商
品または当社グループ会社商品を年1回12月上旬に贈呈させて
いただいております。

- | | | | | |
|-----------|----------|-------|------|------------|
| ●100株以上 | 1,000株未満 | …………… | 小売価格 | 1,500円相当商品 |
| ●1,000株以上 | 5,000株未満 | …………… | 小売価格 | 3,000円相当商品 |
| ●5,000株以上 | …………… | …………… | 小売価格 | 5,000円相当商品 |

meito

名糖産業のホームページをご覧ください。

<http://www.meito-sangyo.co.jp>

環境に配慮し、植物油インキ
を使用しています。

